

# イワタルリ BODY×硝子

Iwata Rury BODY×glass

2016年7月16日(土)→2016年9月25日(日)

- 展覧会名 イワタルリ BODY×硝子
- 会 期 2016年7月16日(土)～9月25日(日)
- 会 場 富山市ガラス美術館 展示室1・2(2階)
- 開場時間 午前9時30分から午後6時  
(金・土曜日は午後8時まで。入場は閉場の30分前まで)  
※初日のみ午後1時から開場
- 閉 場 日 第1、第3水曜日
- 観 覧 料 一般700円(500円) 大学生500円(300円)  
「ベンジャミン・イードルス&キャシー・エリオット：Light Marks-光を<sup>たど</sup>迎る」展との共通観覧券  
一般1,000円(800円) 大学生800円(500円)  
○( )内は前売り・20名以上の団体 ○高校生以下は無料  
※1.前売りは共通観覧券(一般)のみ  
※2.本展観覧券で常設展もご覧いただけます
- 前売り券 共通観覧券(一般のみ)  
取り扱い場所：アーツナビ、アスネットカウンター、  
TOYAMA キラリ総合案内(1F)
- 主 催 富山市ガラス美術館

## 展覧会概要

「イワタルリ BODY×硝子」展では、国内外で活躍するガラス作家イワタルリ(1951-)の作品約 25 点を展示いたします。

イワタルリは、日本の現代ガラスの先駆的存在であった岩田藤七を祖父に持ち、その後継として活躍した岩田久利と糸子の間に生まれます。ガラス制作が身近にある環境で育った作家は、東京藝術大学で鑄金を学んだ後、ガラス作家としての活動を開始します。

作家はこれまで、日常使いのガラスの器から、ガラスを金属や麻縄といった異素材と組み合わせインスタレーションする大型のものまで、多様な作品を生み出してきました。作品に見られる豊かな色彩やダイナミックなガラスの動きは、溶けたガラスが立体へと造形される過程で作家によって引き出されたものであり、作品の大きな魅力となっています。また、自身の身長や手のひらの大きさを基準とした作品からは、あたかも作家の身体の一部であるかのような生命力が感じられます。我々は、作品の持つ強い存在感やエネルギーに圧倒されるとともに、それらを通して作家自身と対面するような感覚となるのではないのでしょうか。

本展は、作家が「彫刻的作品」と称する大型のキャスト作品と、器のかたちを呈する「工芸的作品」とにわけて展示空間の中で構成します。展示作品を通して、ホットワークの技法を駆使し、イワタルリの多様な表現世界を展覧します。

## 作品解説

### ○彫刻的作品

彫刻的作品は、キャスト（ガラスの鑄造）の技法を用い幾何学的なかたちに作られたガラスのパーツを、木や麻縄、コンクリートなどの異素材と組み合わせ、設置空間に合わせて構成し、展示するものです。キャストによる大型の作品表現は、日本では作家が初めて試みたものと言えます。作品を構成するガラスのパーツは、水粘土で作成した原形を元に耐火石膏や砂で制作された型へ、竿に巻き取ったガラスを流し込むことで作り上げられました。

### ○工芸的作品

食器や花器などの器のかたちで作られる工芸的作品は、土台となる透明な器に、竿で巻き取られたガラスを、粘土を用いて造形する彫塑を作る感覚で肉付けし制作されています。特に「縄積み」と呼ばれる技法は、作家が生み出した技法であり、手捻りの陶器を作るように紐状に引き延ばしたガラスを、輪のかたちに積み上げることで成形されます。作品に表現されるユニークなかたちや豊かな色彩からは、作家の洗練された造形と色彩に対する感覚が窺えます。

## 作家プロフィール

### イワタルリ (IWATA Rury)

- 1951 東京に生まれる  
1977 東京芸術大学大学院鍍金科修了

## 主な展覧会

- 1979 個展、むね工芸、東京  
1983 個展、日本橋高島屋、東京（'84, '95, '98）；個展、銀座和光、東京（'84）  
1985 「日本の新しいガラス」展、バーデン州立美術館、カールスルーエ／西ドイツ  
個展、ギャラリーK、東京（-'87）  
1987 個展、SHOP&GALLERY 銀鮭、東京（-'94）  
個展、ギャラリーギブリ、東京（-'94, '96）  
1991 「国際現代ガラス」展、エスパス・デュシャン＝ヴィヨン・センター、サン・スヴェール、ルーアン／フランス  
1992 「日本現代工芸」展、フランクフルト工芸美術館、フランクフルト／ドイツ  
1993 「確かな手応えの追求ー金属とガラスの造形」展神奈川県民ホールギャラリー、神奈川県  
「日本の新しいガラス」展、デュッセルドルフ美術館／ドイツ  
1994 「世界現代ガラス展 World Glass Now '94」北海道立近代美術館、北海道他巡回  
1995 「日本のスタジオ・クラフトー伝統と前衛」展、ヴィクトリア&アルバート美術館、  
ロンドン／イギリス  
1996 個展「Iwata Rury」資生堂ギャラリー、東京  
1999 「現代日本の工芸」パリ、東京、広島、福岡巡回； 個展、日本橋三越、東京  
2000 「うつわをみるー暮らしに息づく工芸ー」東京国立近代美術館、東京  
2001 「椿会展」資生堂ギャラリー、東京（-'05）  
2002 「国際アート・グラス・トリエンナーレ 2002」ポリホルム城／スウェーデン  
2003 「Outspoken Glass 遠慮のないガラスー今日の日本から」北海道立近代美術館、  
岡山県立美術館巡回  
2004 「書・冊あるいは机上空間のためのオブジェ展XI '04」NIKI GALLERY 冊、東京  
2007 個展、GEM ART、東京（'09, '11, '12）  
2009 「女性アーティストと、その時代 資生堂ギャラリー回廊 90周年記念展」資生堂ギャラ  
リー、東京  
2012 「華麗なるガラスの一族ー岩田藤七・岩田久利・岩田糸子・イワタルリー」展、能登島  
ガラス美術館、石川  
2014 個展、SAVOIR VIVRE ギャラリー、東京（-'16）

## 関連プログラム

### 1.作家によるアーティストトーク

日時 8月6日(土)午後1時30分～

会場 富山市ガラス美術館 展示室1・2(2F)

定員 先着60名

講師 イワタルリ

### 2.本美術館学芸員によるギャラリートーク

日時 7月18日(月・祝)、30日(土)、8月13日(土)、27日(土)

9月10日(土)、24日(土)

各回午後3時～

会場 富山市ガラス美術館 展示室1・2(2階)

※関連プログラムは事前申込み不要です。参加は無料ですが、本展の観覧券の半券または  
共通券の半券が必要となります。

また、関連プログラムの開催日時は都合により変更となる場合があります。

詳細はHPをご覧ください。

HP：<http://toyama-glass-art-museum.jp/>

## 出版刊行物

展覧会カタログ 「イワタルリ BODY×硝子」

定価 1,500円(税込み)

刊行日 2016年7月16日刊行(予定)

## 広報用画像

画像1～6を広報用に提供いたします。

ご希望の方は下記の使用条件をご承諾の上、お申し込みください。

《使用条件》

○写真の使用は本展のご紹介のみご利用いただけます。また、写真の2次使用はご遠慮ください。

○写真には、別紙のクレジットを必ず入れてください。

○トリミングはご遠慮ください。画像が切れたりキャプション等の文字がかぶったりしないよう

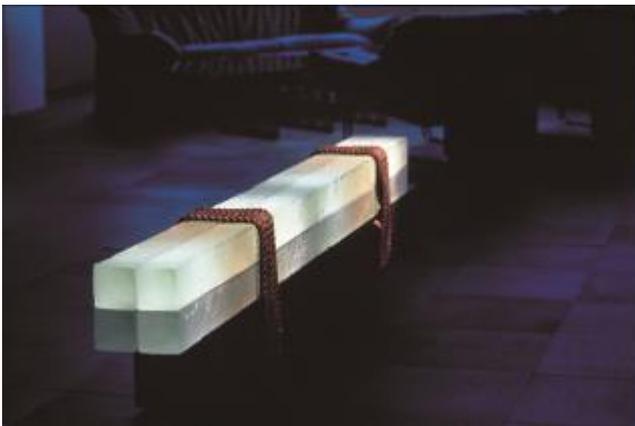
レイアウトにご配慮ください。

○校正ゲラ等の段階で情報の確認をさせていただきます。

○掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVDなどをご寄贈ください。



1.  
《No.899251》  
1989 年  
作家蔵



2.  
《No.893281》  
1989  
作家蔵



3.  
《鉢》  
1990 年  
作家蔵  
撮影：末正真礼生



4.  
《鉢》  
1991年  
作家蔵  
撮影：末正真礼生



5.  
《鉢》  
1998年  
作家蔵  
撮影：末正真礼生



6.  
(左) 《鉢》 1999年  
ヴェルリー クマツ所蔵  
(右) 後：《鉢》 1999年  
前：《鉢》 1999年  
作家蔵  
撮影：末正真礼生